

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

≪28年度≫

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本 目標	施策 の方 向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
1 家族を はじめ るまち ・いち かわ	① いち かわ で仕 事を はじめ る ≪産業 ≫	1 女性起業家支援事業	経済部	商工振興課	産業の新陳代謝を促し、地域経済の活性化を図るため、女性の起業家や起業予定者に対して起業塾やセミナー、起業時の資金面の支援等を行い、女性が起業しやすく、また、経営の安定化を図ることができる環境づくりを推進する。	延べ支援者数（各年度）	100人	123人	A	100人	146人	A	○
		2 起業家支援事業	経済部	商工振興課	市内で起業を志す者、また、起業して間もない経営者に対し、起業・経営相談を行う。	延べ相談件数（各年度）	150件	194件	A	150件	228件	A	
		市内中小企業支援事業（企業・産業間連携支援事業）	経済部	商工振興課	市内中小企業者の新製品や優れた技術を積極的にアピールし、企業間・産業間の技術連携や販路拡大に向けたマッチングの機会創出を図ることを目的として、市内中小企業者が共同で全国規模の展示会へ出展するための支援を行う。	共同出展実施回数（各年度）	1回	1回	A	1回	1回	A	
		市内中小企業支援事業（中小企業販路拡大推進事業）	経済部	商工振興課	市内中小企業者が、個別に展示会に出展する際に補助金を交付することにより、販路拡大の機会を更に創出する。	補助金交付件数（各年度）	10件	10件	A	10件	13件	A	
		5 ワーク・ライフ・バランス推進事業	総務部	男女共同参画課	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発のため、事業者、これから就職を迎える若者、社会進出が期待される女性などあらゆる層を視野に入れた講演会や事業者向け相談会などを行う。	参加者数（各年度）	50人	160人	A	50人	303人	A	

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

「28年度」

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本目標	施策の方向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
1 家族をはじめ まち・ひと・しごと 創生 まち・ひと・しごと 創生 まち・ひと・しごと 創生	② い ち か わ で 結 婚 を は じ め る ま ち ・ い ち か わ	6 婚活支援事業	企画部	企画課	自然体での出会いをコンセプトに、市の様々なイベントとコラボレーションしながら、気取らずに参加できる出会いと交流の場の提供を、1年を通じて行う。	延べイベント参加者数 (各年度)	—	—	—	80人	142人	A	
		7 若年者等就労支援事業（就職面接会）	経済部	商工振興課	ハローワーク市川管内の企業を集め、若者（新卒または39歳以下）および福祉業界（介護、看護、保育等）の就職面接会を開催する。	①参加者数（若者・各年度） ②参加者数（福祉・各年度）	①50人 ②50人	①61人 ②52人	A	①50人 ②50人	①38人 ②33人	C	○
		8 若年者等就労支援事業（就労相談・体験支援）	経済部	商工振興課	就労が困難な若者を積極的に支援するため、ニート・ひきこもり等の若者（39歳以下）もしくはその親等が、就労について相談する場を提供する。また、相談事業にあわせて、就労機会を提供していくため、カウンセリングと職場体験を経て、その後の企業による受け入れまでをサポートする事業を行う。なお、職場体験の受け入れをしてくれる企業の開拓も実施する。	①相談件数（就労相談・各年度） ②延べ利用者数（体験支援・各年度）	①140人 ②60人	①143人 ②76人	A	①140人 ②60人	①130人 ②103人	A	○

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

「28年度」

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本目標	施策の方向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
1 家族をはじめめるまち・いちかわ	③ いちかわで子育てをはじめめるまち・妊娠・出産・子育て	9 子育て環境整備事業	こども政策部	子育て支援課	乳幼児を連れた親子が利用しやすいよう、子育て親子の利用がある公共施設において、授乳スペース、ベビーキープ、おむつ替えの整備を行う。	整備台数（各年度）	17台	19台	A	17台	18台	A	
		10 子育て応援サイト事業	こども政策部	子育て支援課	WEB版「いちかわ子育ておでかけマップ」を新たに作成し、子育て支援施設に関する詳細な情報や、公共施設でのオムツ替えや授乳スペースに関する情報を提供し、子育て世帯の外出を支援する。あわせて、子育て応援サイト「いちかわっこWEB」をスマートフォンで閲覧できるようにし、手軽に子育て情報が閲覧できる環境を整備する。	①いちかわ子育ておでかけマップ作成・スマートフォン版構築 ②いちかわっこWEBアクセス数（月平均）	①0 ②10,000件	①0 ②13,902件	A	①- ②10,500件	①- ②11,811件	A	
		11 子育て支援員養成研修事業	こども政策部	こども施設運営課	子育て支援員等（主に地域型保育事業、一時預かり事業、家庭的保育事業等の保育従事者）を養成するための研修制度を導入し、子育て支援の拡充を図る。	延べ研修受講者数（各年度）	20人	16人	B	20人	30人	A	
		12 保育士等確保対策事業	こども政策部	こども施設運営課	待機児童対策が急速に進み、保育士ニーズが高まる中、保育士養成施設の学生や結婚・子育て等を機に離職した保育士を対象に、市川市の保育園等の良さを広域的にPRするなど、引き続き優秀な人材の確保に努める。	PR用リーフレット発送件数（各年度）	600件	629件	A	—	—	—	
		13 病後児保育事業	こども政策部	こども施設運営課	子どもが病気回復期のため、通常通り保育園等を利用できない場合、医療機関等に併設された保育施設で一時的に保育を実施する病後児保育について、拡充を図る。	施設数（累計）	4カ所	4カ所	A	5カ所	5カ所	A	
		14 保育環境整備事業	こども政策部	こども施設運営課	公立保育園において、スタッキングベッドや加湿空気清浄機を設置して、喘息の原因となるハウスダスト等の発生を抑えるなど、保育環境の改善を図るための整備を行う。	整備施設数（各年度）	21園	22園	A	—	—	—	

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

≪28年度≫

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本目標	施策の方向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
1 家族をはじめ まち・いちかわ	③ いちかわで子育てをはじめめる ≪妊産・出産・子育て≫	15 子育て世代包括支援事業	保健部	保健センター健康支援課	妊娠期から子育て期にわたるまでの総合相談支援（ポピュレーションアプローチ）を行う窓口を設置する。妊娠届出時や希望時には、保健師等の専門職が面接の上、妊娠期や子育て期など、ライフステージに応じたその方のための「子育てマイプラン」を作成・提供する。	子育てマイプラン作成件数（各年度）	—	—	—	4,400人	3,255人	C	○
		16 予防接種モバイルサービス事業	保健部	保健センター疾病予防課	乳幼児期の複雑な予防接種スケジュールについて、スマートフォン等から管理できるサービスを導入することで、受け忘れや間違い接種を防止し、子育て中の保護者の利便性を高める。	新規登録者数（各年度）	—	—	—	8,000人	3,358人	D	
	④ いちかわで学びをはじめめる ≪教育≫	26 多文化共生推進事業（シェフ先生）	文化スポーツ部	国際交流課	国籍や民族・文化的な違いを認め尊重し合い、対等な関係で地域社会を共に生きていく多文化共生社会を推進するため、地域の人材等を活用し、各国の食文化に精通した方々を市内小学校へ派遣し、それぞれの国や地域の文化、生活習慣等を学習する場の提供を行う。	実施クラス数（各年度）	—	—	—	30クラス	34クラス	A	
		27 夢の教室運営事業	文化スポーツ部	スポーツ課	市内の小中特別支援学校へ、トップアスリート等を派遣し、「夢を持ち、それに向かって努力すること」「仲間と協力して物事を達成すること」の大切さを子どもたちに伝え、体験させることで、夢と真剣に向き合うきっかけを作り、子どもたちを成長させる機会とする。	実施クラス数（各年度）	96クラス	96クラス	A	76クラス	76クラス	A	
		28 コミュニティ・スクール推進事業	教育政策室	教育政策課	保護者の代表、地域の代表、学識経験者等で構成する学校運営協議会を設置し、学校運営に一定の権限と責任を持って参画することで、地域とともにある学校づくりを進め、地域全体で子どもを守り育てる環境を整える。	設置数（累計）	—	—	—	1校	1校	A	○
29 校内塾・まなびくらぶ事業	学校教育部	指導課	小中学生の学力向上を図るため、退職教員や大学生、地域人材などの「まなびサポーター」を活用し、算数・数学を中心とした基礎的・基本的な内容の学習機会を放課後および長期休業中等に設ける。	①実施校数（各年度） ②学習したことが、わかった・できるようになったと感じている児童生徒の割合 -%	①55校 ②84%	①55校 ②85%	A	①55校 ②86%	①55校 ②82%	A	○		

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

「28年度」

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本 目標	施策 の方向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
2 元 気 に く ら せ る ま ち ・ い ち か わ	⑤ 元 気 に く ら せ る 地 域 支 援	33 街頭防犯カメラ設置 補助事業	市民部	市民安全 課	自主防犯パトロールを行っている自治会や商店会 などの地域団体に、防犯カメラの設置に対する費 用の一部を補助し、支援を行う。これにより、地 域団体による防犯パトロールの実施と防犯カメラ の運用という相乗効果によって、犯罪抑止と治安 の向上を図る。	補助団体数（各年度）	—	—	—	5件	5件	A	○
		34 認知症カフェ事業	福祉部	地域支え あい課	認知症の人とその家族、地域住民、医療や介護の 専門職の人たち等が集い、認知症の人を支えるつ ながりを支援する「認知症カフェ」を実施する。	実施地区（各年度）	—	—	—	4地区	4地区	A	○
	⑥ 元 気 に く ら せ る 家 族 が い る	41 多世代家族応援パス ポート事業	こども政 策部	子育て支 援課	子育て世帯とその親世帯（三世代）が市内居住し ている家庭に対してパスポートを配布し、パス ポートの提示を行うことで、提携する金融機関等 から各種サービスが受けられる支援を行う。	パスポート発行枚数（累 計）	—	—	—	150件	317件	A	
		42 子育て世帯同居ス タート応援事業	こども政 策部	子育て支 援課	住宅の購入または建て替え等により、子育て世帯 と祖父母世帯が同居をスタートする場合に、住宅 購入等に対する補助金を支給して支援を行う。	支給件数（各年度）	—	—	—	10件	26件	A	
⑦ 元 気 に く ら せ る 医 療 ・ 介 護	44 介護職員初任者研修 費用助成事業	福祉部	福祉政策 課	介護を担う地域の人材の育成、質の高い人材の確 保、介護施設等への定着の促進を図るため、市民 を対象に、研修修了後一定期間以上市内の介護施 設等で就労することを条件に、介護職員初任者研 修取得にかかる費用の一部を助成する。	支給件数（各年度）	—	—	—	20件	10件	D		

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

«28年度»

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本目標	施策の方向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
3 選ばれる魅力あるまち・いちかわ	⑧ まちの魅力をつくる≪景観・文化≫	51 公共施設等サイン整備事業	財政部	管財課	主要駅前に設置している総合案内板等の公共サインについて、多言語化標記を行うなど、情報の更新・充実を図る。	整備箇所数（各年度）	3カ所	3カ所	A	—	—	—	
		52 文化施設サイン等整備事業	文化スポーツ部	文化振興課	本市ゆかりの作家や市内文化施設等を紹介する案内板（公共サイン）の整備および回遊マップ等の案内パンフレットの多言語化を図り、市民や観光客が、歴史的・文化的施設を巡る際のサポートをする他、外国人観光客等に対し広く市川の魅力を発信することで、観光客等の増加と地元経済の活性化を図る。	①案内板整備カ所数（各年度） ②回遊マップの多言語表示（各年度）	—	—	—	①11カ所 ②1地域	①11カ所 ②0地域	D	
		53 ガーデニング・シティ いちかわ事業	街づくり部	まち並み景観整備課	サポーター制度の運営や協働花づくり、まちなかガーデニングフェスタの実施など、ガーデニングによる市民交流を通じて、「景観向上」「協働推進」「健康増進」を実現し、「住んでみたい」「住み続けたい」と思える魅力あるまちづくりを進める。	サポーター数（累計）	750人	750人	A	800人	800人	A	○
		54 まち並み景観整備事業	街づくり部	まち並み景観整備課	市川らしい景観づくりに向け、イルミネーションの実施・管理や、美しいまち並み協定などにより、景観意識高揚とまち並み景観の向上を図る。	イルミネーション設置箇所数（各年度）	3カ所	3カ所	A	2カ所	2カ所	A	○
		55 市川市景観まちづくりパンフレット作成事業	街づくり部	まち並み景観整備課	市川市景観基本計画（平成16年5月策定）について、「市川景観まちづくりパンフレット」を作成し、普及・啓発を行う。パンフレットの作成にあたっては、デザイン性を持たせた分かりやすいイメージで表現するとともに、市民等と協働作業でワークショップ等を開催しながら、市川らしいまち並み景観について議論し、理解を深めていく。	パンフレット発行部数（各年度）	—	—	—	2,000部	4,000部	A	

市川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点事業）の進捗状況について【総括】

「28年度」

評価	達成率 = 各年度の実績 / 各年度の目標
A (十分達成できた)	90%以上
B (概ね達成できた)	80%以上 90%未満
C (やや不十分だった)	70%以上 80%未満
D (不十分だった)	70%未満

資料7

基本 目標	施策 の方向	事業名	所管		事業内容	指標	27年度			28年度			(参考) 第三次 実施計画
			部	課			目標	実績	評価	目標	実績	評価	
3 選 ば れ る 魅 力 あ る ま ち ・ い ち か わ	⑨ ま ち の 魅 力 を 発 信 す る ≒ シ ティ セ ール ス ・ 観 光 ≒	60 地域ブランド活性化事業	経済部	商工振興課	「市川のなし」をはじめとする本市の地域資源を掘り起こし、それを活用した新たな商品の開発・PRを行うことで、魅力的な個店づくりから、商店街の活性化、賑わいの創出、地域経済の活性化を図る。(いちかわバラ物語、市川のおさかななど)	参加店数(累計)	155店	156店	A	165店	127店	C	○
		61 いちかわ ふらりまち歩き事業	経済部	観光交流推進課	市外からの訪問者をはじめ、市民に対しても、地域の魅力の再発見と地元に対する愛着心の醸成を目的とした観光スポットめぐりの提案とイベント等を行う。	イベント参加者数(各年度)	—	—	—	2,000人	415人	D	○
		62 ロケーション撮影支援事業	経済部	観光交流推進課	市川市が映画やドラマ等の映像作品の舞台となることが、市内外での本市の魅力向上につながることから、制作会社等からの問合せに応え、撮影場所およびその情報を提供するとともに、舞台となった場所のPRを積極的に行うことで、市民による地域への愛着の醸成、集客の増加を図る。	撮影件数(各年度)	65件	53件	B	70件	82件	A	
		63 シティセールス事業	企画部	企画課	総合戦略の重点となる『結婚』『子育て』『景観』などの施策について、公共交通機関の広告媒体等を活用し、総合戦略の推進にあわせたシティセールスを実施する。	実施件数(P R実施事業の件数等)	—	—	—	2件	2件	A	○